



恋心
又
事
情

教
え
子
の
イ
テ
の

DOJIN
R18
成人向け
18歳未満の
購入・閲覧禁止

私は自分の容姿が
嫌いだった

年齢にそぐわない
胸のサイズをしていて

た...
わ...
わ...

悪目立ちをして

あらぬ悪評なんかも
多く伝わっていた

私のメンタルは
限界を迎えて

次第に学校に
行けなくなっていくた...

うる...



第二学習室

夏休み明けから

自習室登校する
ことになりました

その状況を見かねた
お母さんが何か
手を回したみたいで

それじゃあ
お願いわく



2Aの三好です

今日から
よろしくお願ひしますっ

んん

おっ？

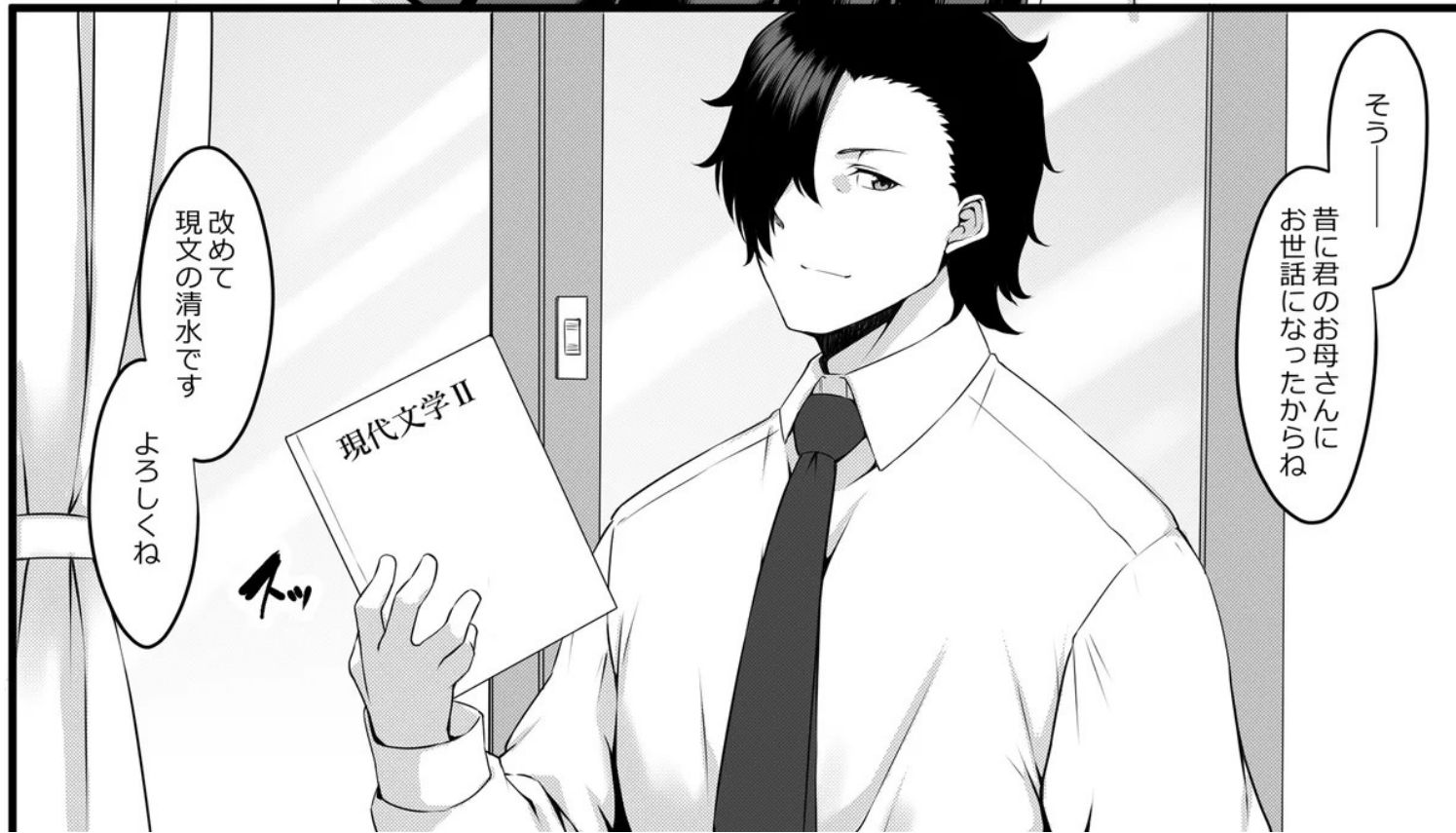
来たね？

恋子さんから
伺ってるよ

勉強を教みて
やってくれって

え!?

母からですか!?



そう

昔に君のお母さん
お世話になったからね

改めて
現文の清水です

よろこぶね

現代文学II



はい！

よろしく…
お願いします！

お母さんに気を
使わせちゃったかな…

でも——

先生も偏見を
持っている側なら——



先生は——

私の容姿を見て
どう思いますか？

先生の回答次第で

私は——



——そうだね

あまり気分は
よくないかもだけど…

ハッキリと伝えた
ほうがいいかい？

ああ…

先生もやっぱり…



容姿で
どうこうってないよ



今は勉強に
集中してほしい

だから安心して



遅れてしまっている分
取り戻しているころ

三好さん



正直なところ

どうも思っていないよ

悪く捉えないで
欲しいんだけど

家柄的に人を
外見で判断せず

人となりを見るよう
教育されているんだ



はい♡
頑張つて勉強します！

よかった

先生は偏見なく
私に接してくれる

あつ…あぶねえ…

確かに人を容姿で
卑下したりとか
しないけど…

あの乳は暴力的で
反則だろ…

意識しないって
方が無理——ツ!!



それから
先生との授業が

始まった



気付いた時には

目線で先生を
追っていた



先生と一緒にの
時間も増えて



徐々に成績も
戻ってきて



ちよっ

お母さん!?

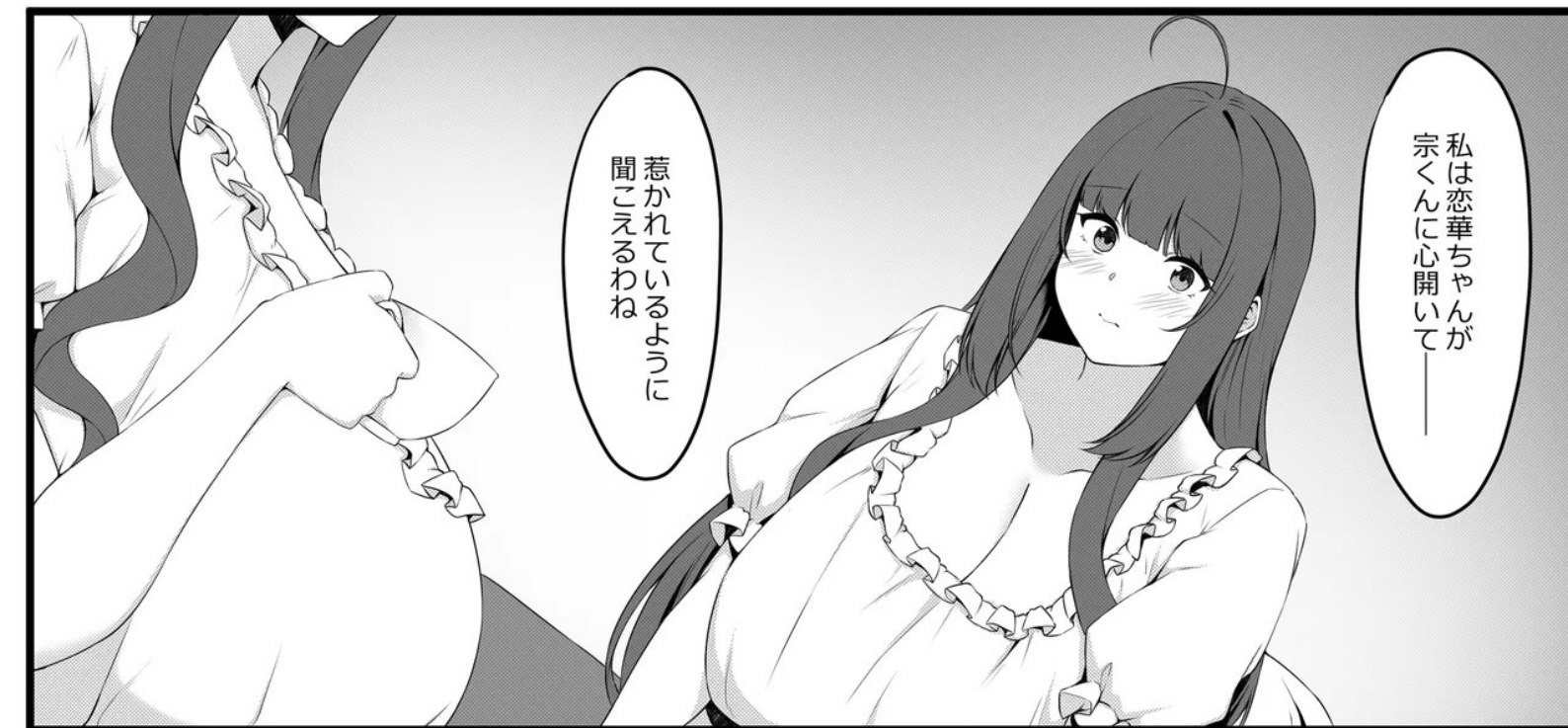
あらっ?

違うの??



そう...

恋華ちゃんは
宗くんを好きになったのね



私は恋華ちゃんが
宗くんに関心して

惹かれているように
聞こえるわね



お母さんに任せて!

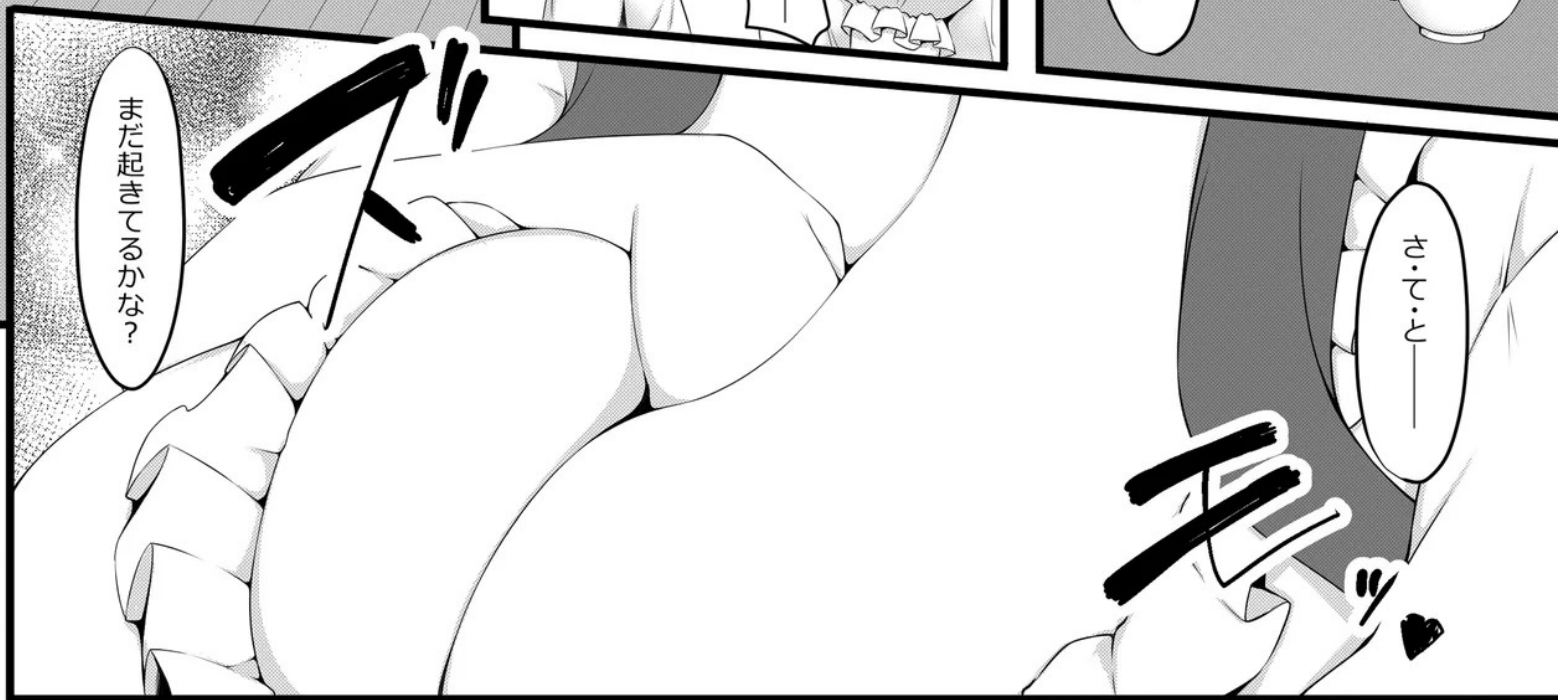
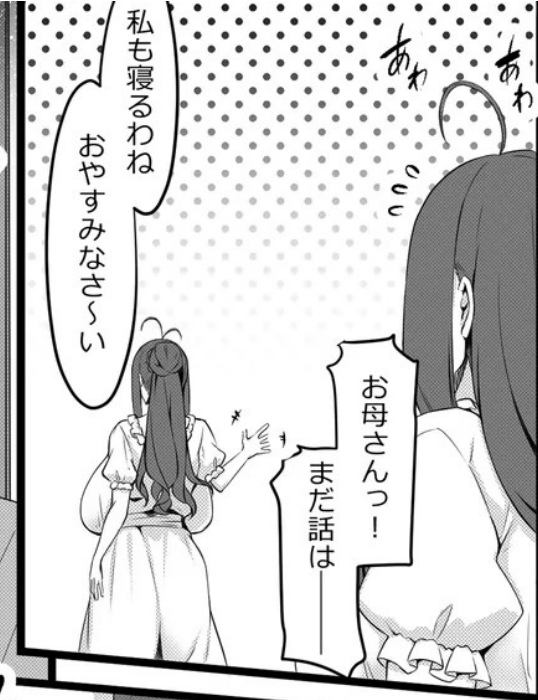
お母さん?!

そうとなれば
善は急げね!



心から応援するわ

お母さんは
お相手が宗くんなら



私も寝るわね
おやすみなさい

お母さんっ！
まだ話は

さーと…
もう夜も遅いし
寝なさい

お乳にも
よくないわよ？

まだ起きてるかな？

さーと…

日程が決まり次第
そちらに向かってもらうから

はい

よろしくね♥

そう

決まったわ

あ！
もしもし？
宗くん？

夜遅くに
ごめんなさいね

そう
それでね…お世話係の
交代の件なんだけど



— そうか

新任のお手伝いさん
今日からか…



ん?

数日後—



本日よりメイドで
派遣されましたっ!

三好恋華ですっ!

よろしくお願ひ致しますっ!

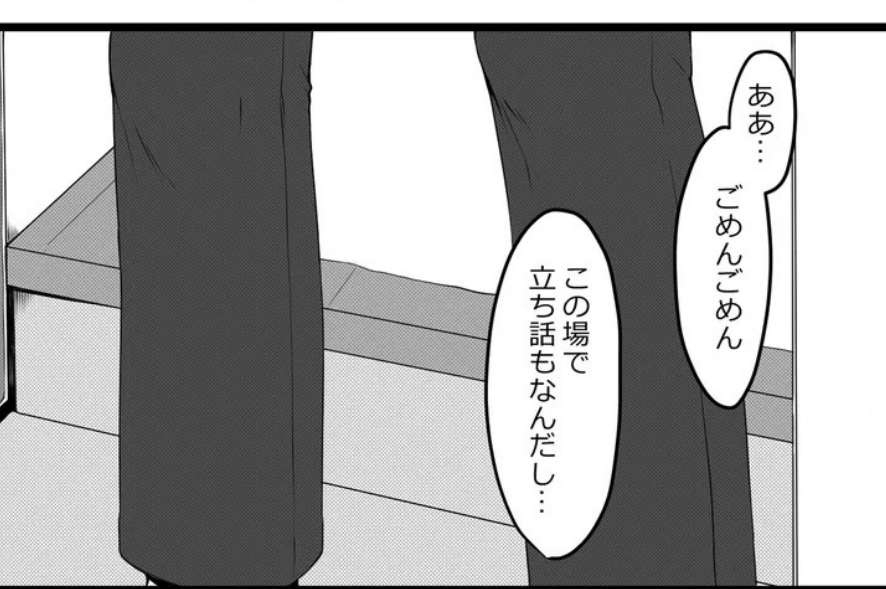
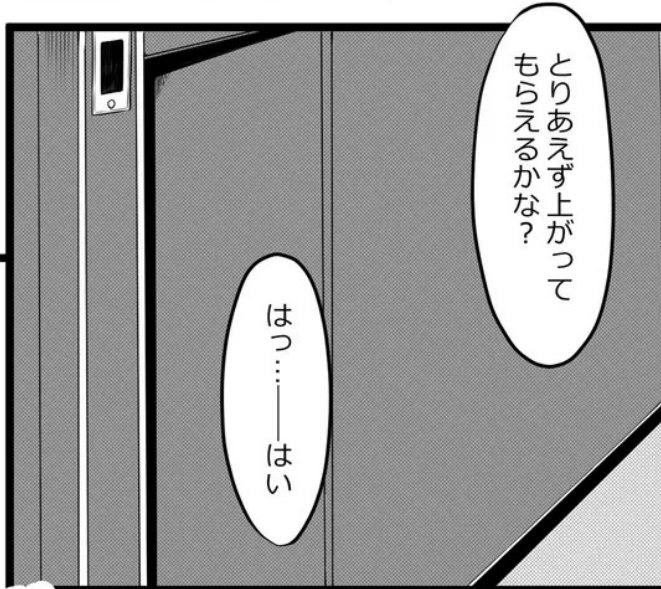
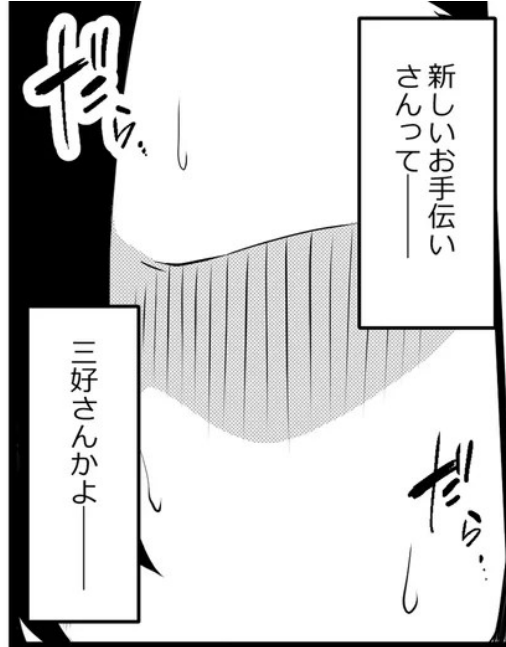


お手伝いさんはもう
いらないうって言ったのに…

恋子さんは
ごり押しで話を
進めちゃうんだから



はい





わかった…

でも—

三好さんは
学生なんだから

仕事はそこそこに
勉強に集中してね

はっ…
はっ…

だから

家事は分担していこう



でも—

そろそろ限界かも
知れない—



それから私は先生の
家に住み込みで
働くようになりました

私の家事担当は
炊事と洗濯をしています



空いた時間では
先生に勉強を
見てもらえます

先生のお宅に
来てから搾れてない…

どしどし…

結構溜まって
きさきさしてる…

そろそろ
搾らないと…

おっぱい張って
痛いし…

溜まって大きくなって
ブラが合わなくなっちゃう…

ズッ

ズッ

ズッ

あとで先生が
就寝したタイミングで
搾っちゃおう…

——
待って

この機会に先生に
打ち明けてしまっても
一つの手なのでは…

先生ならきっと——

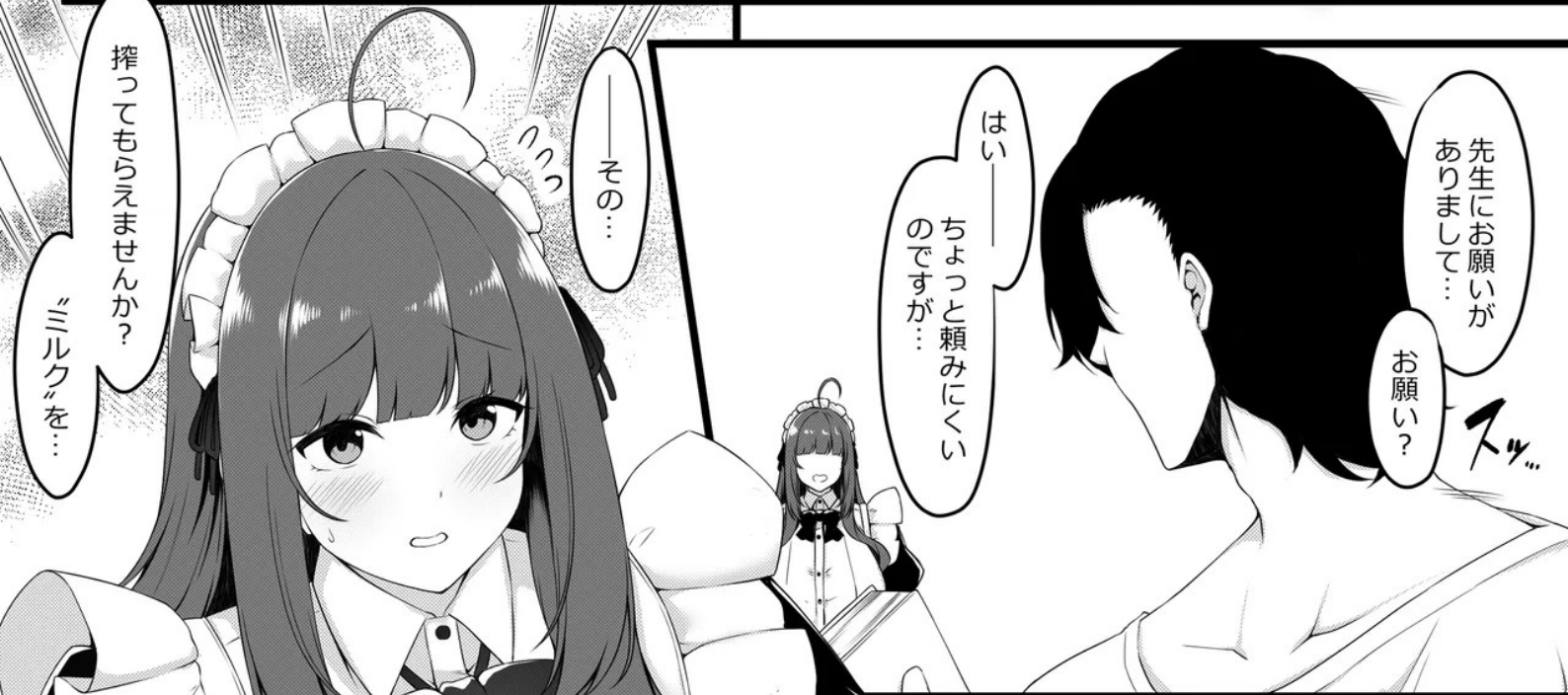
妊娠していないのに母乳が
出るって特異体質…

先生にバレてしまったら…

お母さんと昔からの
知り合いってことは——

ズッ

ズッ





立ってられないッ♥



三好さんッ!!



ダメ…ッ♥
足に力入らない…ッ♥



柔ッ

これ—
三好さんの
おっぱいっ!?

まぢっ…

息が…でき…っ…

やああ

ん

なにっ!

ん

ん





んっ♡
んっ♡

先生♡

お目覚めに
なられましたね♡



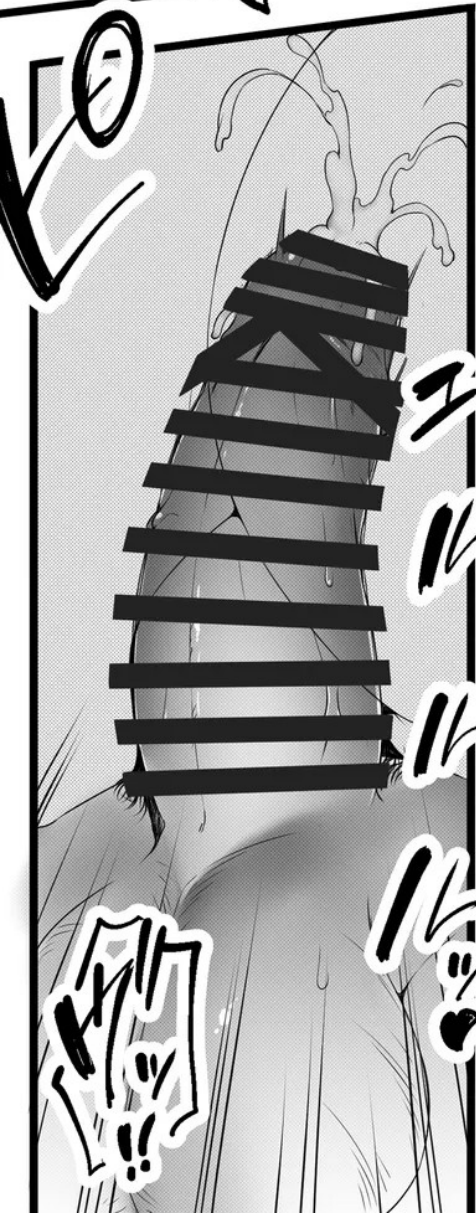
三好さんっ!?

なにやってるんだっ!?

なにをやって? "

先生は気を失って
おりましたが—

あともう少しだと
思いますので—



ごめんなさい♡



先生のおちんちんが
全然ご健在でしたので♡

いやっ
そういうこと
じゃなくて!!



三好さんッ!!



先生え♥

たあらくさん
出されましたね♥



何をやっているんだッ

君はッ!!

君は生徒で
僕は教師だ!!

こつうことは
本来避けるべきことなんだ!!



いいんです♥先生♥

今は

主人とメイドの関係





か

あ

ご褒美を

ASO

ASO

私にください♡



先生と生徒の
背徳関係もよいですが…



今は純粹に

日々の勉強と
お仕事の



なっ!?



あはこ——
ははは
ははは

すごく柔らかくて
気持ちいいよ

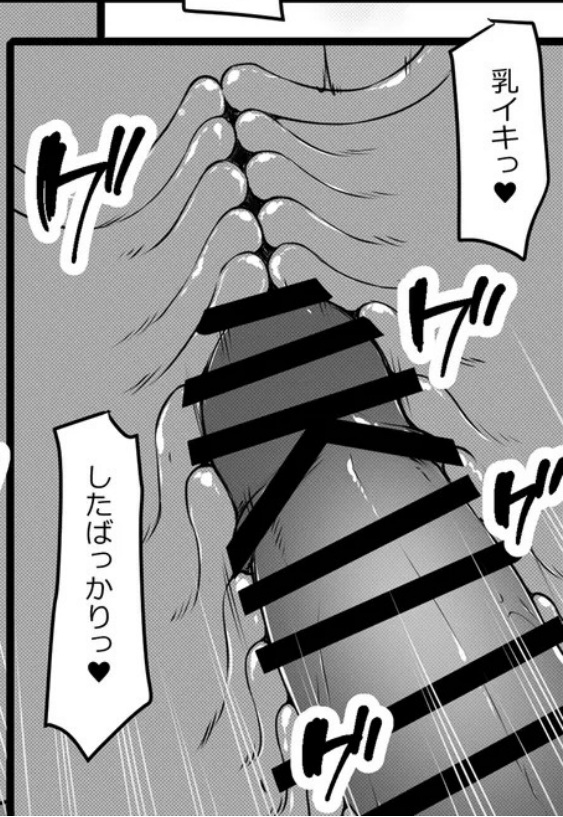
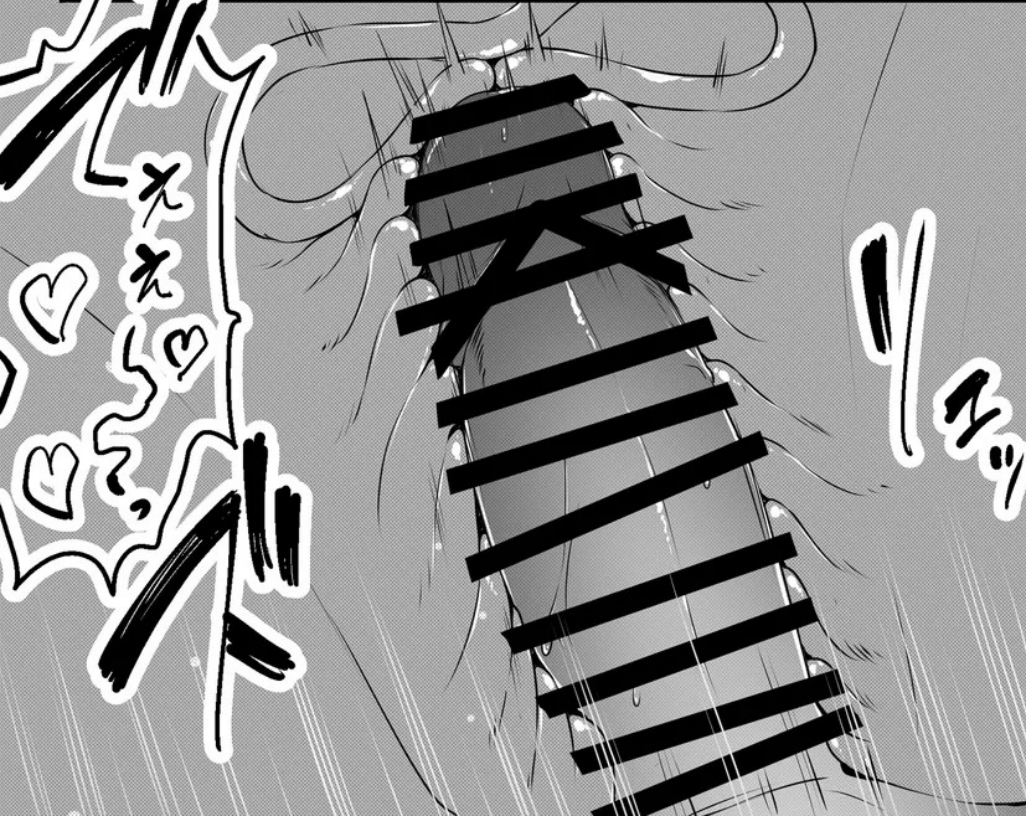
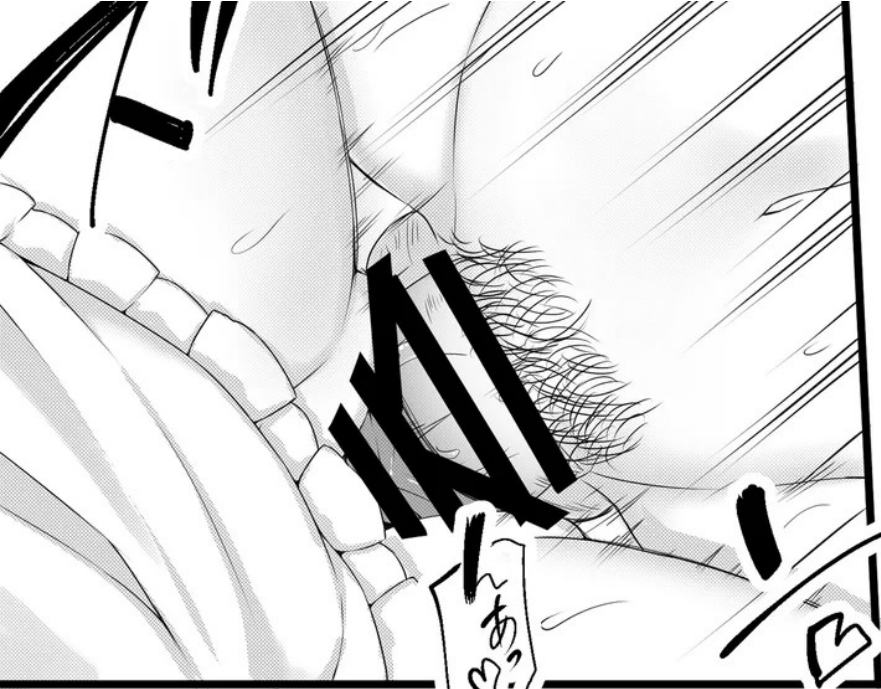
三好さんのおっぱい

こんなに乱暴に
揉まれたらっ♡



うあっ!?!

あははは
あははは



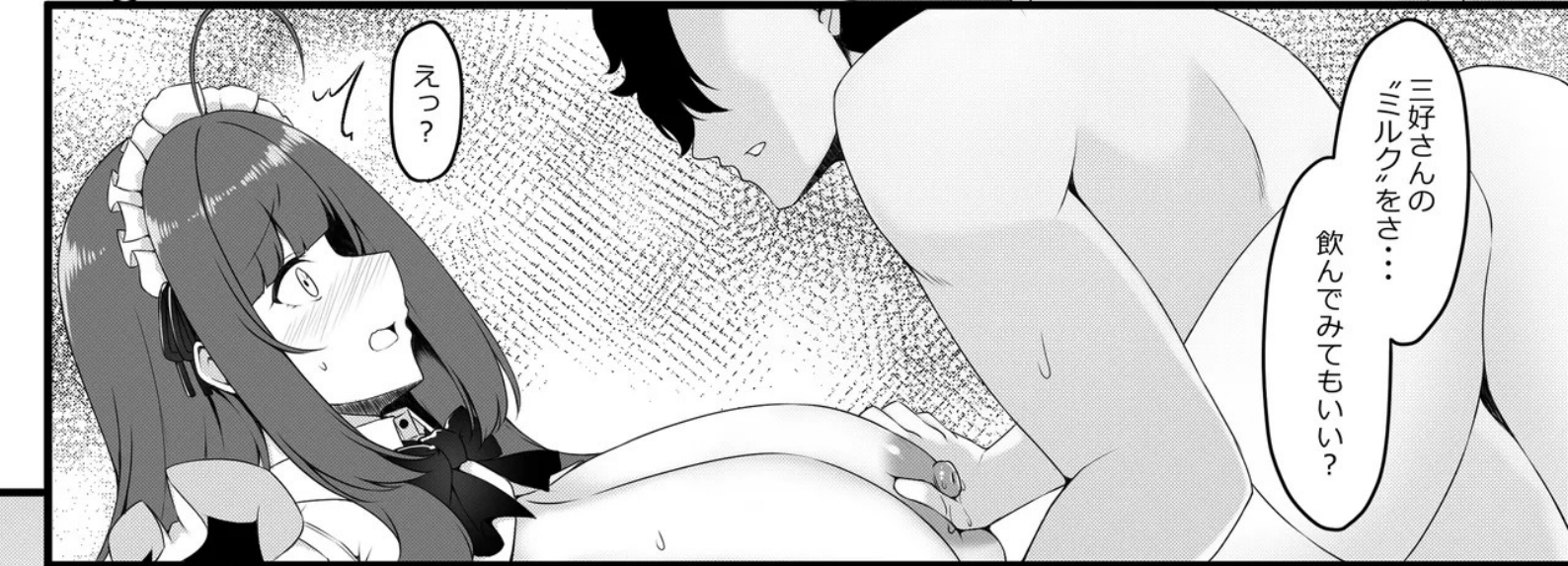


大丈夫かい?
三好さん?

奥をトントンされて
力が抜けちゃう♥

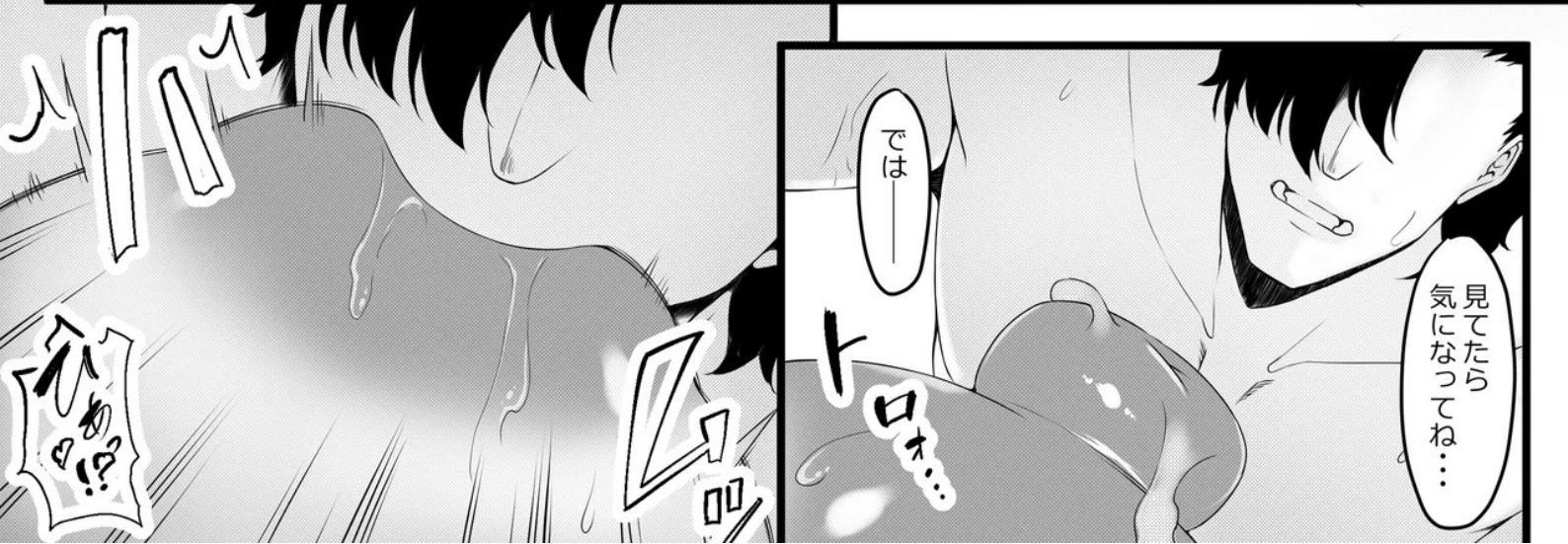
それにしても
すごい量だね...

それで
相談なんだけど...



三好さんの
『ミルク』をさ...
飲んでみてもいい?

えっ?



見てたら
気になっただね...

では...

すごい量だね…

夢中で飲んでたから
お腹タプタプだよ…

ビッ

ビッ

それに精力向上の
効果があるのか…

治めさせてもらいな

ビッ
ビッ
ビッ

あ…

勃起が治まらない…

ビッ

はちゅ

ちゅ

ちゅ

ちゅ

だから

ちゅ

ちゅ

ちゅ

ちゅ

ちゅ



三好さんッ

もうだめだッ

ほ...ほ...

ん...ん...

あ...

ん...ん...

あ...あ...

ん...ん...

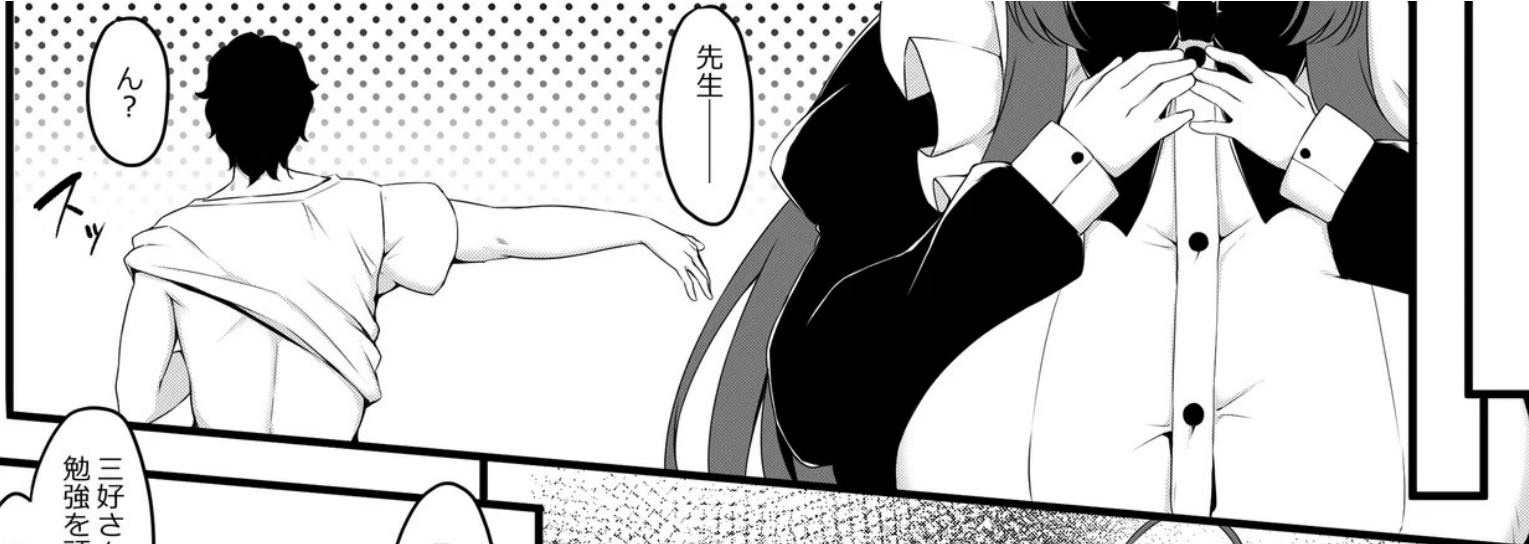
ん...ん...

ん...ん...

ん...ん...

ん...ん...

ん...ん...



ん？

先生——

アッ



三好さんは
勉強を頑張らなきゃ
学校を卒業するのにもね

そっだね

でも——

アッ

アッ

はい♡



私はずっと——

先生の教え子で——

専属のメイドですよ♡

これからずっと

私は先生と歩いていく

隣で——

アッ



あとがき

この度はお手に取っていただき
ありがとうございます(*'ω'*)ノ

ようやく恋華ちゃんのメインストーリーを
お届けすることができました！

恋華ちゃんのお母さんも
久々の登場です(´ω´)

ちょっと馴れ初め話が長くなってしまって
工口がちょっと薄くなっちゃった感が
申し訳ないです(;´Д`)

三好家の話は一旦ここで
一区切りとなりますが
今後はFANBOXなどで三好家の
日常などを展開していく予定です！
(まだ妹の実恋ちゃんも未登場なので…)

また、既にXでは公開しておりますが
次回からまだ描いたことのない
ギャル(?)系のシリーズも始めたいと
思っていますので
お待ちいただければと(*'ω'*)

安心して下さい(´ω´)
どうせ、乳繰り合いますw

では、次回の本にて
お会いしましょう(´ω`)ノシ

嵐木まみず

- ◆発行日:2025/12/31
- ◆嵐木まみず/Script Garden
- ◆Email/mamizu.work.0322@gmail.com
- ◆X/@mamizu_sub
- ◆Pixiv/16134059
- ◆印刷/コーシン出版 様

Presented by Script Garden, Mamizu Arashiki From Comic Market 107 Winter

